



ちまたでは、日増しにクリスマスモード全開！という感じで、スーパーでは、クリスマスソングが流れ、家に帰って料理中にも、♪ジングルベル～、♪ジングルベル～・・・、とか、まっかな♪お鼻のトナカイさんが～♪とか、つい口ずさんでいる自分がありますが、皆様は、いかがお過ごしでしょうか？

放課後教室でも、クリスマスにちなんだグッズをたくさん作って、盛り上がっています。是非、子ども達が持ち帰った作品を飾って楽しんでくださると、作ってよかった！という達成感につながると思います。今年のニューバージョンは、ダンボールで作るリースです。折り紙で飾るだけで、こんなに、ステキなリースが作れるとは！と指導員のアイディアに拍手です（手前味噌ですみません。）。



大縄、回してー。

保護者会が終わりました。1：35下校なので、放課後で過ごす時間が長いため、時間割を作って、工夫しました。3日間とも晴天で外遊びも出来たので、長い時間でも楽しめました。



ドッチのコートかいて～～。

まだ、こんな時間？
お母さん、早く来ないかなー・・・。

二重あや跳び、とべるよ、みとってー。

いいよー、なんでもござれー！

指導員の取り越し苦労？でしょうか。

出席カードに、お迎えの時間を書いて提出して頂いていますので、子どもたちは、「今日のお迎えは、〇〇だー。」「今日のお迎えは何時かな？見てみよっと。」などと、さも、早く帰りたげに話しています、が、いざ、お迎えに来て頂くと、「早過ぎ！。」「今、遊んでるから、もうちょっと、まっとて～～。」「あと〇〇分後に、もう一度来てー。」《ビデオに見とれてちっとも帰る準備ができなかつたり》とか、勝手な行動で、おうちの方を困らせている光景が目につきます。そこで、ある時のはじめの会で、「おうちの方が迎えに来て下さることに感謝して、“ありがとう”って、言ったことありますか？わざわざ時間を作って迎えに来て下さるのだからすばやく帰り支度をしてください。待たせないようにしましょう。」と提案しました。各ご家庭、いろんな教育方針があると思いますが、今一度、子どもたちと話し合ってみてください。新しい年がすぐそこに来ています、『一年の計は元旦にあり』、よい機会だと思います。



先日、昔の職場の先輩方との食事会に参加してきました。感動した一話を披露します。

その中でのキーワードは、“生きる力”でした。

ある方は、息子が赴任先の中国上海から7年ぶりの帰国と共に、中国人の嫁をともなってきたそうです。そして、「結婚した！」と。びっくりしたそうですが、37歳と25歳のカップルですので、暗黙の了解ということになり、しばらく家が見つかるまでいっしょに暮したそうです。色々あったそうですが孫も誕生し、嫁は、日本語を勉強中だそうです。・・・、そうです。嫁は、教養のない田舎娘だったのです、ということでした。

もうひとつ方は、一人息子を立派な医者にさせ、35歳で、この度、25歳の看護師と結婚されたそうですが、家柄などがネックで反対でしたが、今は、孫もでき、息子は、とっても幸せそうで、「まあ、いいか～～。」という感じです、とのことでした。ともに、二つの事例の嫁たちには、共通項“生きる力”が備わっている、ということでした。「育ちがよくなければなら

ない。」といわれますが、お金や教育ではなく、貧しくても、愛情豊かに育ったかによるという意味なのだと実感して帰ってきました。是非、将来のある放課後の子どもたちも、愛情豊かに育てることに努力して“生きる力”を身につけさせたいものですね、がんばりましょう。



12月18日(木)3:00～、マジックショウ～～！

「ちちんぷいのぷい！」このことばをとなえると・・・？！

* 保護者の方も、是非、見に来て下さ～～い。癒されますよー。


3月13日(木)、低学年でもわかる人権擁護講演会！・・・予定

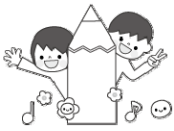
・春日小学校長も絶賛！



2学期におこなったイベントを紹介します

9月	スノードーム
10月	スポーツの祭典（ストラックアウト、スカットボール、ナインポケットターゲット）

11月	 粘土消しゴム 万華鏡
12月	毛糸マフラー ダンボールで作るリース ツリーカード 松ぼっくり&折り紙ツリー



編集後記

子どもたちを見ていると、日々、遊びを通して本当にたくさんのことを学んでいるなと感じます。人とふれあう楽しさ。ダンスやドッチボールなど一緒に楽しめた一体感・満足感。ものをつくる創造力・達成感。ズルをしない、ルールを守る大切さ……。

また、遊びの中でのめごととも絶好の学びのチャンスです。些細なめごとは毎日のように起きます。おもちゃや道具をどちらが使うか、誰と遊ぶか、遊びに熱中するあまり、我を忘れてけんかになることもあります。一緒に遊ぶにはどうしたらいいのかを考える中で、お互いに自分の気持ちを話したり、友達の気持ちを受け入れたりしながら、折り合いをつけることや仲直りの仕方など、人とのかかわり方を学んでいます。

子どもたちにとって「遊び」は本当に大切です。これからも、放課後教室では「遊び」を通して子どもたちの成長をサポートし見守っていきたいと思います。

(指導員Sのつぶやき……でした。)

